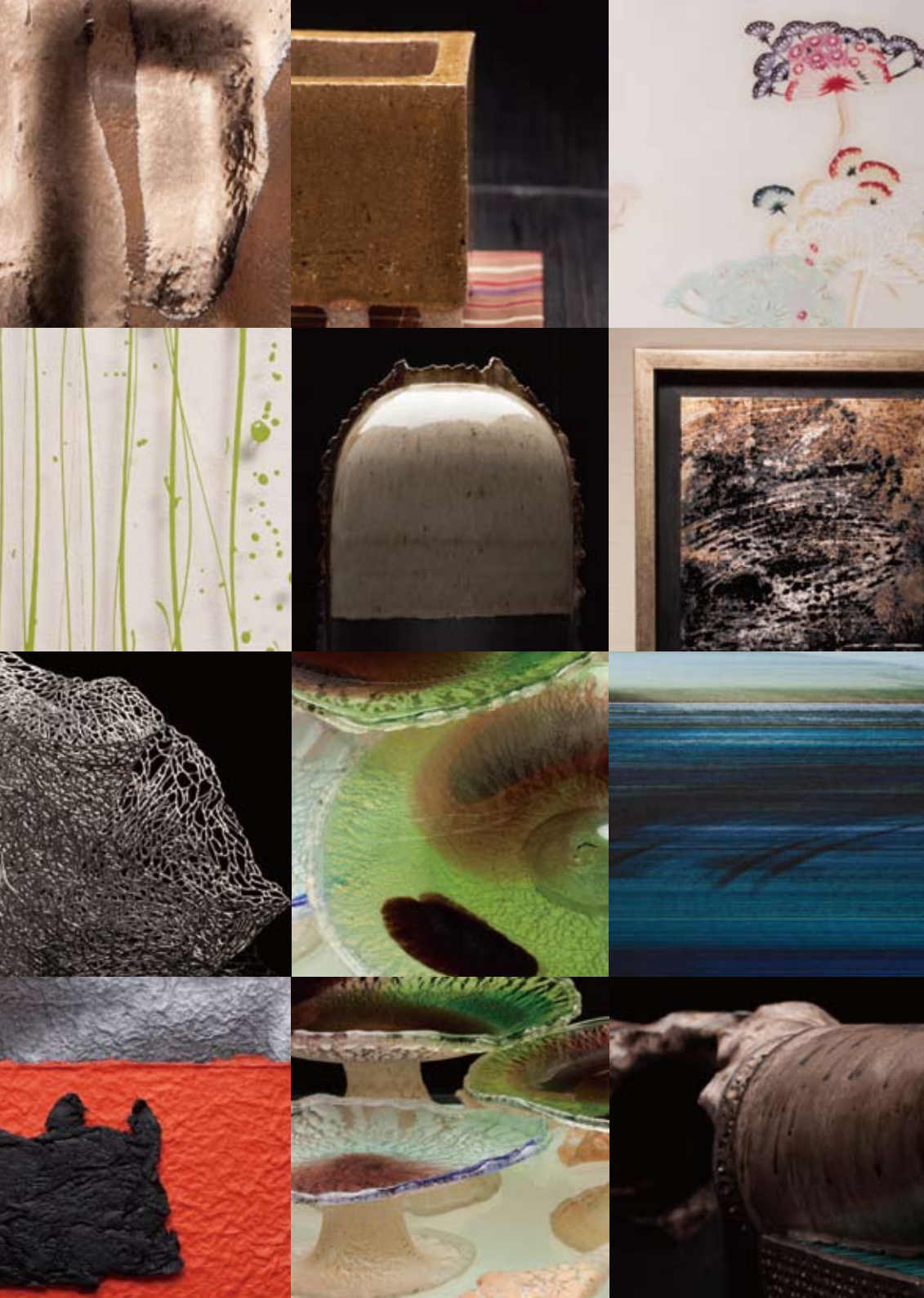


# VISUAL ART BOOK

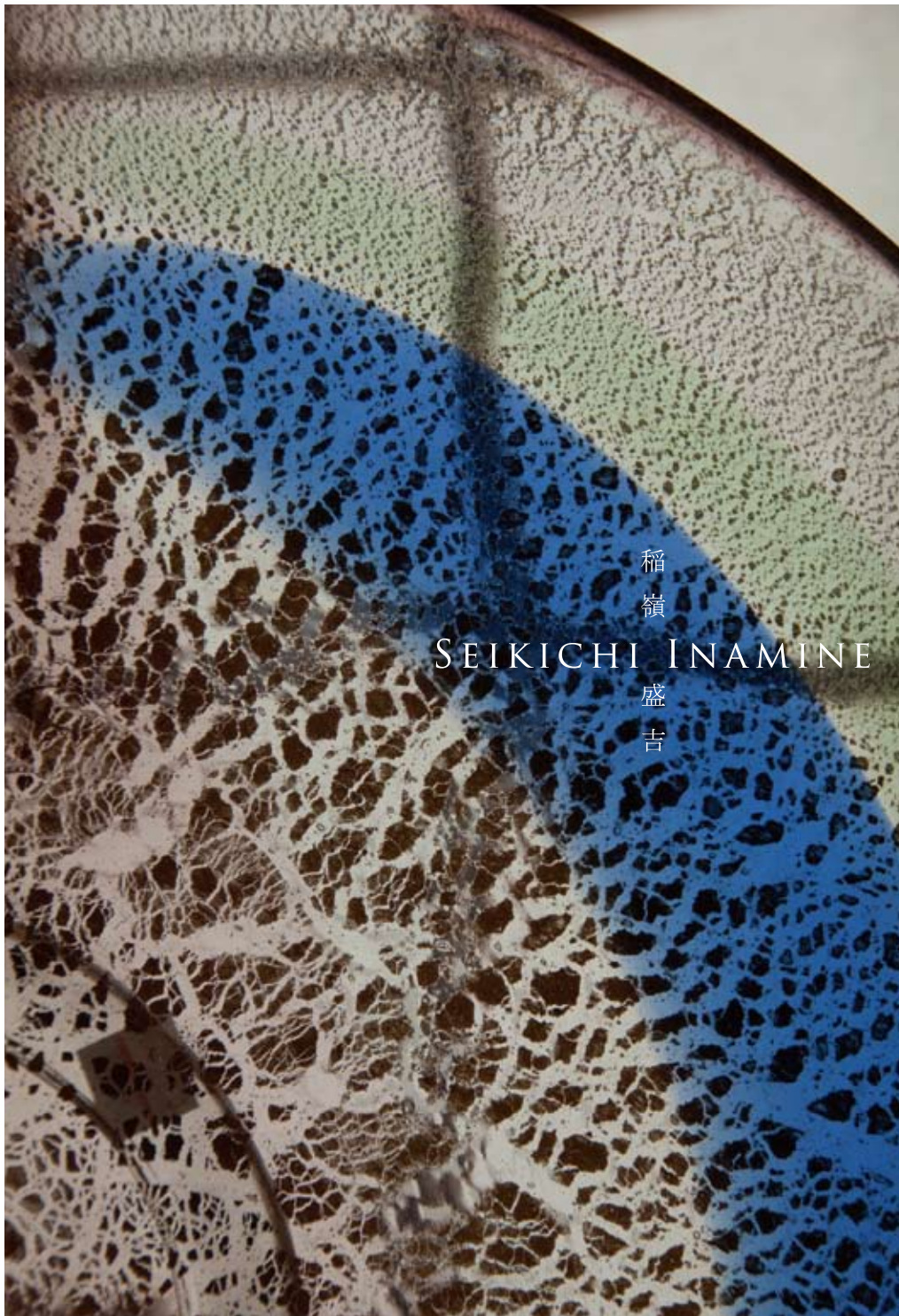
## INTRODUCTION

### はじめに

当ホテルのテーマは「Lasting Impression  
～記憶に残る感動を～」です。ご提供する  
サービスはもちろんのこと、滞在された  
お客様に空間を通して心に残るような  
ホテルライフをお楽しみいただけるよう  
に、各フロアのテーマに沿ったアートた  
ちが様々な光と影をまとい、自由なかたち  
で展示しております。“アートが空間を引  
きたて、インテリアデザインがアートを際立  
たせる”をコンセプトに沖縄を代表する  
陶芸・ガラス・絵画作家から、若手の作家  
まで経歴を問わずアートを選定しました。  
沖縄のアートに囲まれた空間でゆったり  
とした時をお楽しみくださいませ。



14TH FLOOR RECEPTION



稲嶺  
SEIKICHI INAMINE  
盛吉



沖縄の自然からインスパイアを受け  
廃瓶から生み出される温もりある感性の形。

稲嶺氏の工房、“宙吹きガラス工房 虹”は敷地の一番初めの建物が工房になっている。中では稲嶺氏のお弟子さんたちが滝のような汗を流しながらひたむきに作品を制作していた。工房の外から見学する我々も目に熱を感じるほどのだから、その熱は相当なものである。

敷地の奥へ進むと稲嶺氏とご子息の作品を展示しているギャラリーがあり、海外出品作品から、花器、器といったありとあらゆる作品、力強い表現の結晶が展示されている。どの作品も琉球ガラスに対する我々が普段目にする固定観念をいい意味で裏切ってくれるものばかりだ。そしてギャラリーの建物の裏手には作品として新たな生を吹き込まれるのを待つ膨大な数の廃瓶が集められていた。

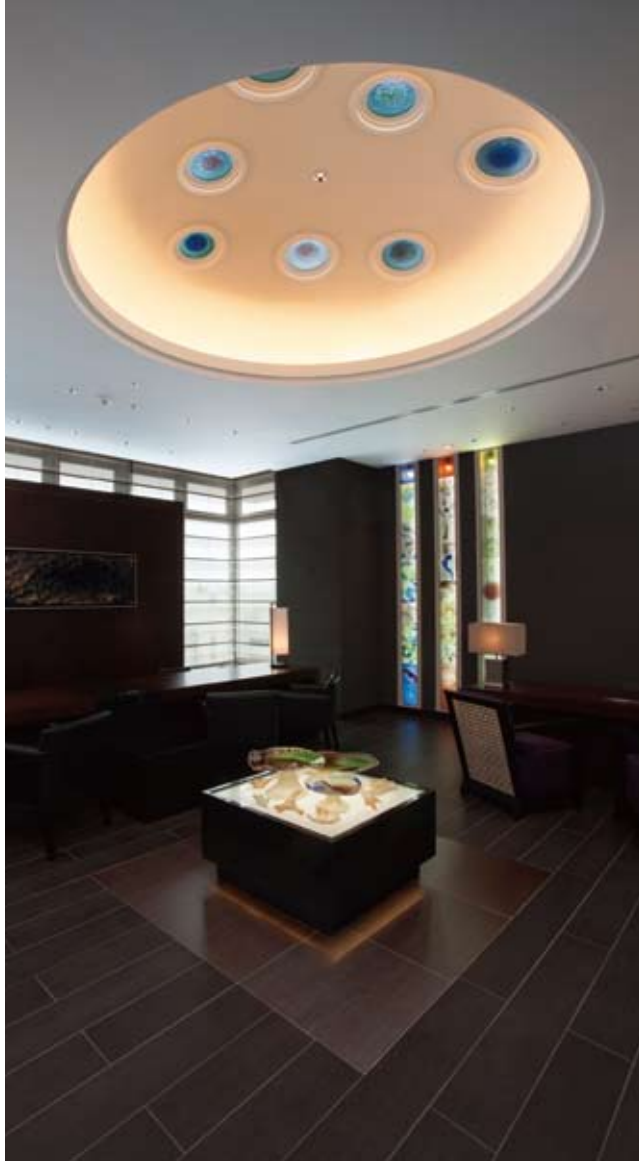
「作品を作る上で沖縄の自然からイメージを受けて制作することが多い。」と語る稲嶺氏。ギャラリーで出会った作品からは、単なる美しさだけではなく、厳しさや温もりといった様々な表情に惹きつけられる。それは今まで沖縄の自然から感じた稲嶺氏の感性がそのまま表れており、それがたくさんの人を魅了する理由のひとつなのだろう。



宙吹きガラス作りはチームワークが大事。工房ではお弟子さんたちが手際よく制作を行っていた。



稲嶺氏の特徴的な技法、アイスカットグラス。この独特のテクスチャにはファンが多い。



14TH FLOOR RECEPTION



14TH FLOOR RECEPTION

14TH FLOOR RECEPTION

## 稲嶺 盛吉

SEIKICHI INAMINE

海面から見る透明な海底のサンゴ礁がつくる美しい風景を表現した。  
見上げると海の底から見る太陽の光がきらきらと降り注ぐガラスの天板。

- 1940年 那覇市寄宮に生まれる。
- 1988年 奥原硝子工房に入り、牧港ガラス、ぎやまん館、琉球ガラス村を経て「宙吹ガラス工房 虹」を設立。
- 1989年 沖展会員となる。
- 1990年 沖縄県優秀技能賞 受賞。
- 1994年 「現代の名工」 受賞。
- 1998年 沖縄タイムス社芸術選賞大賞 受賞。
- 1999年 第14回栃木県美術展、栃木県文化振興協議会会長賞 受賞。
- 2001年 現代芸術作家、栄光賞 受賞。  
聖アントニウス芸術大賞「イタリアの時・陽・風に乗せて」  
絵画、工芸展の(時空)に出展。(ピオンビーノ市立現代芸術ギャラリー)  
芸術功労賞 受賞。(株)アートジャーナル(東京都)
- 2002年 アポロン大賞 受賞。  
天平鐘樓賞(奈良、東大寺無限展)受賞。  
ストックホルム平和貢献賞(平和賞)  
モナコ公国・名誉賞(ディプロマ・ドヌール)(モナコ日本芸術文化展)
- 2003年 イタリア美術賞展。工芸作品推薦部門 特別出品。(ローマ/ヴィラ・ポニアトウスキー館)
- 2004年 第9回 OASIS 2004 (大阪) 出品。  
琉球ガラス「現代の名工」技と美 三作家展(読谷村立美術館)
- 2005年 中国現代国際美術展 藝術功労賞  
「ほむらガラス工芸館」 開設。



大嶺  
JISSEI OMINE  
實清



己の感じのままに  
土から生み出す力強さと優しさの形

工房に併設する“ギャラリー詰屋(きや)”。空が広く、亜熱帯の植物に囲まれ、水の溜った甕にはおたまじゃくしが泳いでいる。ギャラリーに一歩足を踏み入れると大嶺氏の真骨頂、ベルシャブリーの花器や器、オブジェが所狭しと棚や床に並び、ご子息たちの作品も棚ごとに分けられて並んでいる。まず、それらひとつひとつの力強い存在感に惹かれる。何と言ってもこの心地よい風が通り抜ける空間がその存在感を引き立て、魅せられてしまうのだ。

「自由に作品を動かして、好きな場所で撮影していいから。」と大嶺氏は気さくに話しかけてくれ、気遣ってくれる。撮影をしながら作品を作る上で考えることを伺ってみた。すると「使う人のことを考えるというよりは、自分がいいと思うものを作っている。感じのままに。」バルコニーからギャラリー内を見つめながら、迷いなく大嶺氏は即答する。その言葉からは大嶺氏のとてもまっすぐ大胆に作品と向き合うスタイルを感じ、大嶺氏の力強く大胆で優しさを感じる作品を生み出す空気を少しだけ感じたような気がした。



大嶺氏の作品は器や花器であってもどこかユニーク。機能美とオブジェ的な美しさの両方を兼ね備えた魅力がある。

14TH FLOOR ELEVATOR HALL



13TH FLOOR GUEST ROOM  
(ROYAL SUITE)



14TH FLOOR RECEPTION



14TH FLOOR RECEPTION

## 大嶺 實清 JISSEI OMINE

内には常に壮大で思想的に深い理論性を持って  
沖縄の陶芸を見ているはずだが、  
作品は多くの場合、  
見てもすぐに親しみが持てる和らぎのフォルムと力強さ、  
そして優しさであふれている。

- 1933年 沖縄県出身。
  - 1961年 立命館大学文学部哲学科卒業。
  - 1963年 絵画「グループ耕」を結成。
  - 1970年 首里城北に「石嶺窯」を開く。
  - 1980年 読谷村に「読谷山窯」を築く。
  - 1982年 バナリ（新城島）下地で土器を焼成。
  - 1986年 沖縄県立芸術大学教授となる。
  - 1989年 韓国、慶尚湘南道の左峰家窯で、井戸茶碗を焼成。
  - 1991年 タイ パンチョン・カムオウ村や、中国、雲南省西双版納で土器を焼成。
  - 1997年 沖縄県立芸術大学教授を退官。
  - 2002年 沖縄県立芸術大学大学学長に就任。
  - 2003年 沖縄県立芸術大学学長を退官。
- 現在、沖縄県立芸術大学名誉教授 読谷山窯 窯元



14TH FLOOR LOBBY



6-13TH FLOOR GUEST ROOMS

## 伊是名 淳 ATSUSHI IZENA

沖縄の風習や様式を作品の中に残していきたいと日々制作に取り組んでいる中で今回は新築祝いに様々な縁起物を飾るという風習に着目した。その縁起物のひとつが水牛の角である。海に近い立地と建築物という要素をふまえつつ、陶芸という手法を使いながら異素材に見えるよう制作した。

1970年 那覇市出身

九州産業大学デザイン学科卒業

1993年 中学・高校教員（～2001年）

2002年 「活き活きした暮らし」をコンセプトとした複合ビルVIVACEを設立。

2009年 染色家とのコラボレーションによる染物と焼き物を融合させた作品をデザイン・制作するユニット、Design Unit THAI（デザインユニット タイ）結成。

沖縄デザイン戦略構築促進事業 東京展示会

イタリア家具ブランド「カッシーナ」で販売開始。

2010年 オリオンビールキャンペーン景品制作。

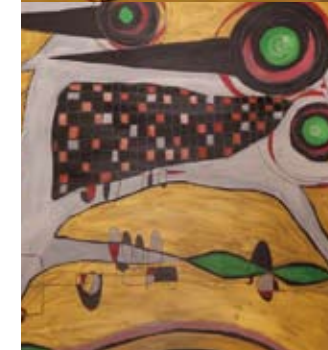
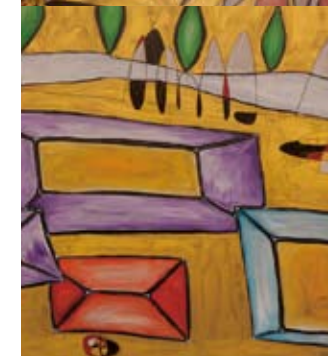
豊見城中央病院附属健康管理センターアートワーク。

2012年 LOOCHOO展（ロンドン）参加。

14TH FLOOR DINNING & BAR  
AIJU



14TH FLOOR DINNING & BAR  
AIJU



英天

EITEN

沖縄の太陽と生命力溢れる自然を、ホテルの前を流れる川と共に描いた。

1972年 沖縄県生まれ。

2002年 精力的に個展開催をはじめ。

2008年 初海外個展をNEW YORKで開催。

沖縄のアーティストバンドMONGOL800のCDジャケットを手がける。

2009年 宮古島ロックフェス（後夜祭LIVE PAINTING参加）。

東京銀座Jtrip Art Galleryで個展開催。

ブラザハウスグローバルギャラリーSTEEL WORKS EXHIBITION開催。

MONGOL800FES, What a Wonderful World09にLIVE PAINTING参加。





12TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)



12TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)

謝 敷 宏  
HIROSHI JASHIKI

“海”シリーズは私の心の中にある  
故郷の海を太平洋を隔てたアメリカから  
思い浮かべながらつくった作品のグループ。  
アメリカの海とは違い穏やかでかつ逞しい  
シマンチュ（沖縄の人）のスピリットも  
考えながら表現した。

琉球大学でアートと手織りを学んだ後、渡米。  
米国ミシガン州のグランブルック・アカデミー・オブ・アートの  
大学院でファイバーアートの修士を修得。  
ニューヨーク・カルバン・クライン社でシニア・デザイナーを勤め、  
現在、沖縄県立芸術大学でテキスタイル・デザインの教鞭をとる。  
Bruce Elliott New Yorkのクリエイティブディレクターとして  
Tシャツのラインを手がける。

13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN SUITE)



13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN SUITE)

13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN SUITE)

10TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)



10TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)



10TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)

桃原 須賀子  
SUGAKO TOBARU

森、植物への触発。忙しい時間の中を過ごしている毎日です。  
森の空間、植物たちの息を感じて、ゆっくり、ゆったり、  
時を刻んでいただきたいと願いを込めて制作。

- 1960年生まれ
- 1985年 2人展 県民アートギャラリー
- 1987年 個展 画廊沖縄
- 1989年 個展 画廊沖縄
- 2002年 個展 前島アートセンター
- 2004年 個展 DSギャラリー
- 2005年 個展 リウボウホール
- 2006年 10人展 ギャラリーアトス
- 2006年 個展 ギャラリーアトス/think of
- 2008年 個展 画廊沖縄

## 成瀬 好徳

YOSHINORI NARUSE

沖縄の碧い海と珊瑚、緩やかに打ち寄せる波、心地よい風をイメージして制作。

1976年 岐阜県生まれ

2000年 PEACE BOAT (地球一周の旅) に参加する等諸国巡歴

2004年 東京芸術大学安宅賞 受賞。

2005年 東京芸術大学サロン・ド・ブランタン賞 受賞。

東京芸術大学 美術学部工芸科 卒業。

2006年 朝日現代クラフト展優秀賞 受賞。

伊丹クラフト展 入選。

2007年 東京芸術大学院彫金専攻 修了。

2008年 日本クラフト展 入選。

2009年 朝日現代クラフト展 入選。

2009 Art Front Collection展『春風献上-』(代官山 ART FRONT GALLERY)

工芸都市高岡クラフト展 メタルマテリアル賞 受賞。

2010年 『成瀬好徳展 -お披露目 錫の作品集-』(新宿小田急百貨店)

2011年 『成瀬好徳展 ~ Blowin in the wind ~ 』(新宿小田急百貨店)

日展 入選。

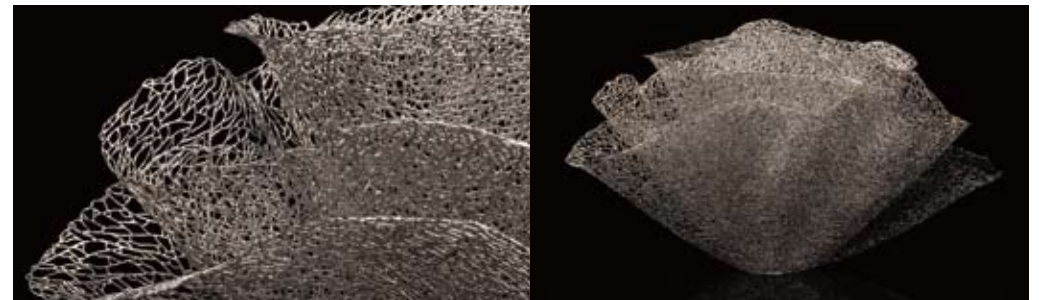
工芸都市高岡クラフト展 グランプリ受賞。

2012年 日本現代工芸美術展 入選。

現在、主にオブジェ、クラフトを中心に、ジュエリー、建築物等も幅広く制作活動中。



14TH FLOOR LOBBY



14TH FLOOR LOBBY



12TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)



12TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)

## 縄 トモコ TOMOKO NAWA

作品が掲出されるフロアのテーマ、  
「空」からイメージをふくらませ紅型の手法を使いながら、  
白・金などの色を使い、  
柔らかな光、風、輝きを、絵画的に表現した。

- 1981年 鳥取県米子市生まれ
- 2003年 沖縄へ移住  
金城紅型染工房・普天満紅型工房で紅型を学ぶ
- 2007年 独立と共に、自己ブランド「紅型ナワチョウ」設立  
異なったジャンルの物作りユニット「ココロ工房」を結成  
(紅型・陶器・写真)  
県内外で個展活動を展開
- 2008年 太陽(ティダ)に魅せられて 東京・ギャラリー&カフェ6次元
- 2009年 タイヨウとツキのユメ 沖縄県玉城・海坐  
6への探求 東京・ギャラリー&カフェ6次元
- 2010年 つばめとハチドリ 沖縄・GARIB DOMINGO  
つばめとハチドリ 鳥取・ギャラリーそら
- 2011年 さちばる・野の歌・風の声 沖縄・GARIB DOMINGO  
風の歌を聴いた 姫路・ギャラリーとーく  
遠くから聞こえた 埼玉・楽風  
淡い風を感じて 鳥取・ギャラリーそら

12TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)

12TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)





13TH FLOOR GUEST ROOM  
(ROYAL SUITE)



13TH FLOOR GUEST ROOM  
(ROYAL SUITE)



14TH FLOOR RECEPTION

## 根間 智子

TOMOKO NEMA

黒の空間に照らされた月の光の波間。

それを眺める漂う小さな小舟が影のかたちに添うように月光をなぞる。

沖縄への愛着や回帰を表した力強いミクストメディア作品。

1974年 沖縄県生まれ。 美術家。

銀箔を使った絵画や写真、ガラス、映像で作品を発表する。

1998年 個展（沖縄県立芸術大学・企画展示室）

2001年 フォトネシア/光の記憶・時の果実（前島アートセンター）

2002年 沖縄新世代作家展（アート遊/大阪）

2004年 個展 narrative-photo glass works（ギャラリーアトス/那覇市）

2005年 100点の絵画展（ギャラリーアトリエ/博多）

2007年 SQVINT of OKINAWA Vol1（photographers gallery/東京）

「写真0年 沖縄」連動会（那覇市民ギャラリー/那覇市）

2008年 現代美術の展望「VOKA展 2008年-新しい平面の作家達」（上野森美術館/東京）

個展「流漂」（ギャラリーアトス/那覇市）

2010・11年 未来への視座（ギャラリーTEN/東京）



13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN SUITE)

東恩納 美架  
MIKA HIGASHIONNA

各階フロアコンセプトを日常見ている  
沖縄の風景や色に照らし合わせ陶板に落とし込んだ。  
さらに弁柄など鉄の粉をすりこみ  
強い日差しに焼けたコンクリートのような質感を表現。

- 1977年 沖縄県生まれ。
  - 2001年 沖縄県立芸術大学卒業。
  - 2003年 沖縄県立芸術大学大学院修了。
  - 2005年 個展。陶・よかりよ（沖縄）
  - 2006年 工房設立。  
個展。前島アートセンター（沖縄）
  - 2007年 個展。陶・よかりよ（沖縄）  
個展。リベラルアートJPN（広島）
  - 2008年 個展。ギャラリーワッツ（東京）
  - 2009年 個展。陶・よかりよ（沖縄）  
個展。花と器 SUMI（高知）
  - 2010年 個展。ギャラリー忘我亭（長野）  
個展。ギャラリーワッツ（東京）  
個展。陶・よかりよ（沖縄）
  - 2011年 工房移転。  
個展。リウボウ美術サロン（沖縄）  
個展。ギャラリー氏一れ（千葉）
  - 2012年 ギャラリーワッツ（東京）
- 現在、那覇市にて制作を行っている。



12TH FLOOR  
ELEVATOR HALL



10TH FLOOR  
ELEVATOR HALL



14TH FLOOR  
RECEPTION



13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN SUITE)



13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)

13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)

13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)



13TH FLOOR GUEST ROOM  
(GRAN TWIN)

美濃 定雄  
SADAO MINO

山・川・森・海と大自然の宝庫国頭村比地にあるアトリエでの製作活動を通して感じた「風が見える!」という体験から、風から感じたあらゆる表情を和紙を通して、あらゆる角度から表現した。

1940年 東京生まれ。

大手デパートでアートディレクターとして広告制作。

海洋博の翌年より、県内の大手広告代理店で制作活動。

阿和和紙・伝統工芸師「藤森実」氏に師事。

2000年 国頭村比地にアトリエ設立。

那覇・東京・パリにて個展。

## VARIOUS ARTISTS

稲嶺 盛吉

大嶺 實清

---

伊是名 淳

英天

謝敷 宏

桃原 須賀子

成瀬 好徳

縄 トモコ

根間 智子

東恩納 美架

美濃 定雄